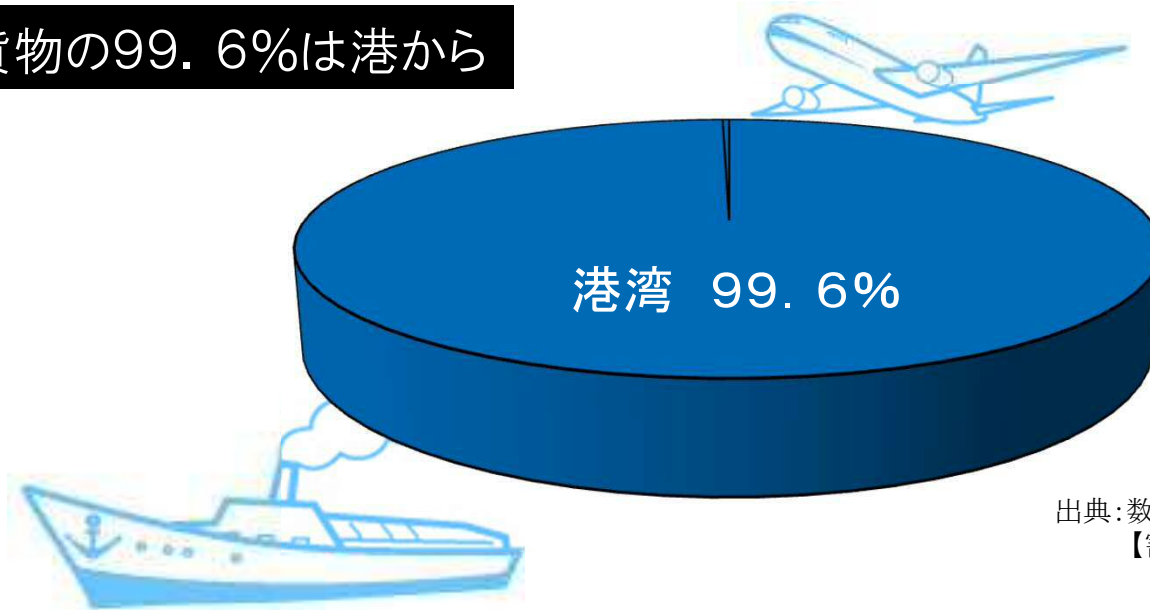


事業概要

令和3年 4月
川崎市 港湾局

港の役割

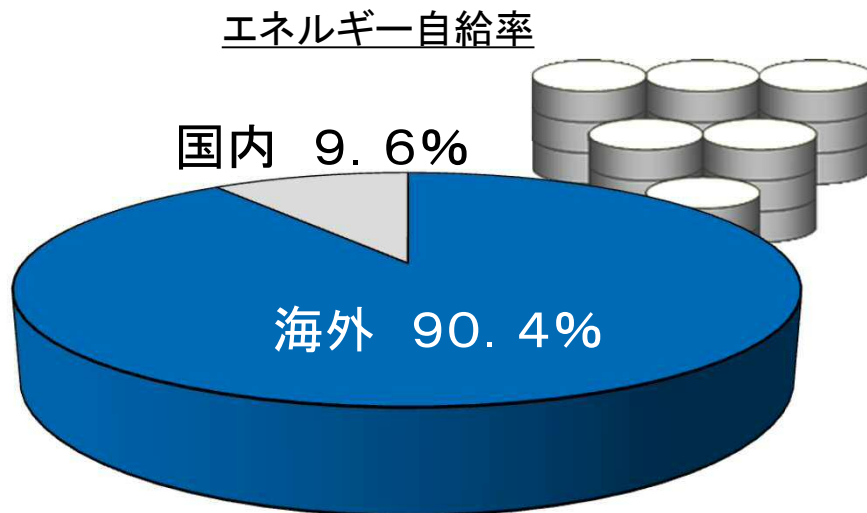
輸出入貨物の99.6%は港から



航空 0.4%

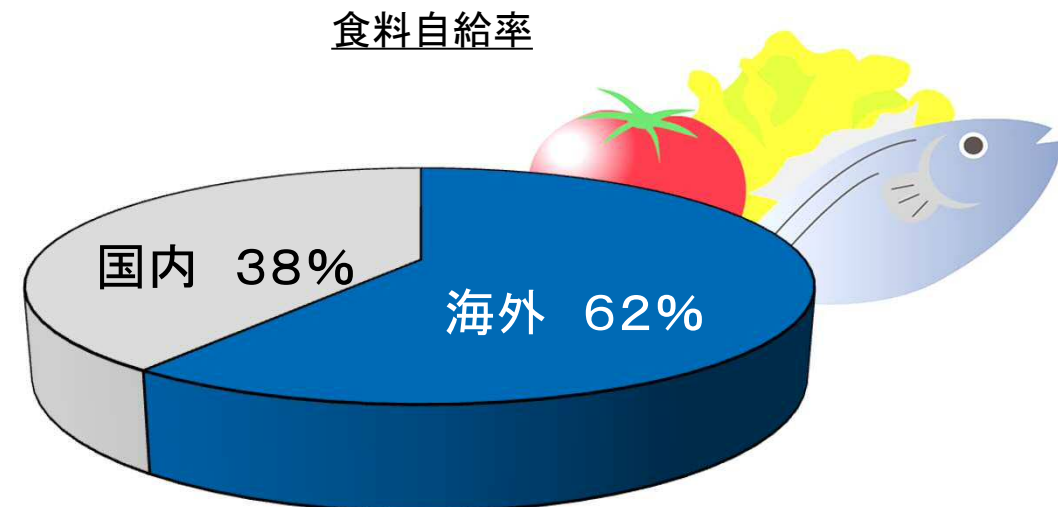
出典: 数字でみる港湾2020 (監修: 国土交通省港湾局)
【割合: トン数ベース / 対象年: 平成30年】

エネルギーの9割以上は海外から



出典: 日本のエネルギー 2019年度版 (経済産業省資源エネルギー庁)
【対象年: 平成29年度 確報値】

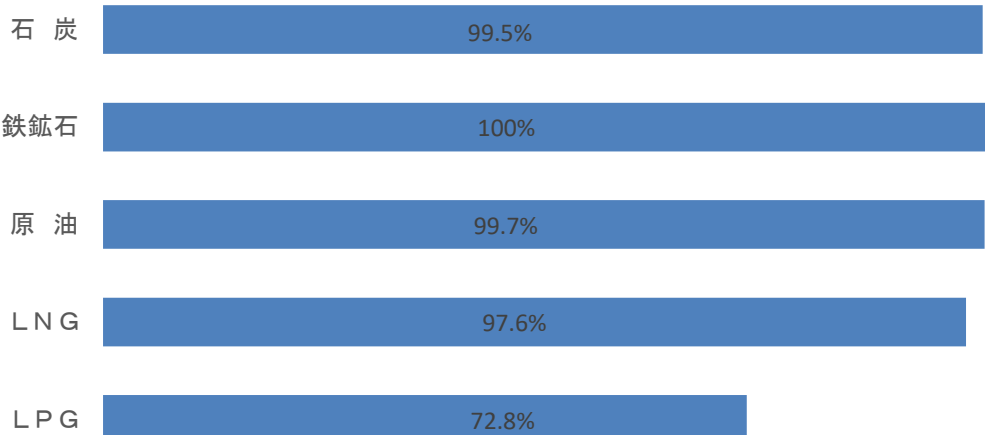
食料の6割以上は海外から



出典: 農林水産省HP「食料自給率の推移」
【割合: カロリーベース / 対象年: 令和元年度】

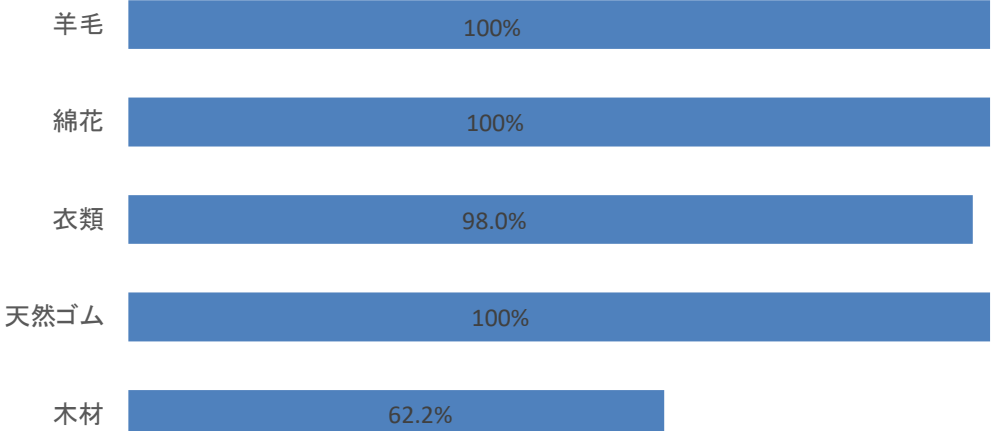
主な資源・物資の対外依存度

【エネルギー資源】



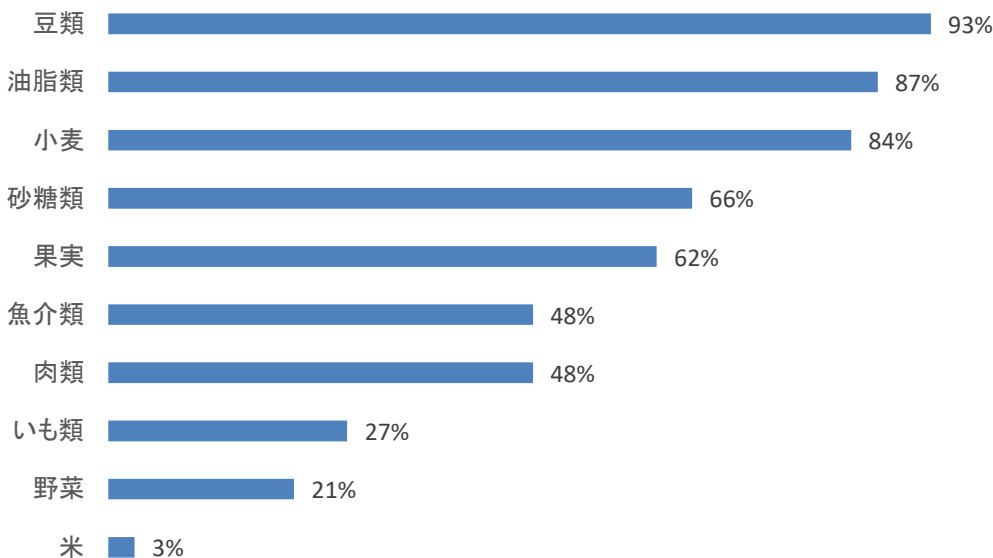
出典: エネルギー白書2020(経済産業省 資源エネルギー庁)
日本の海運 SHIPPING NOW2020-2021(公益財団法人: 日本海事広報協会)

【衣・住 関連物資】

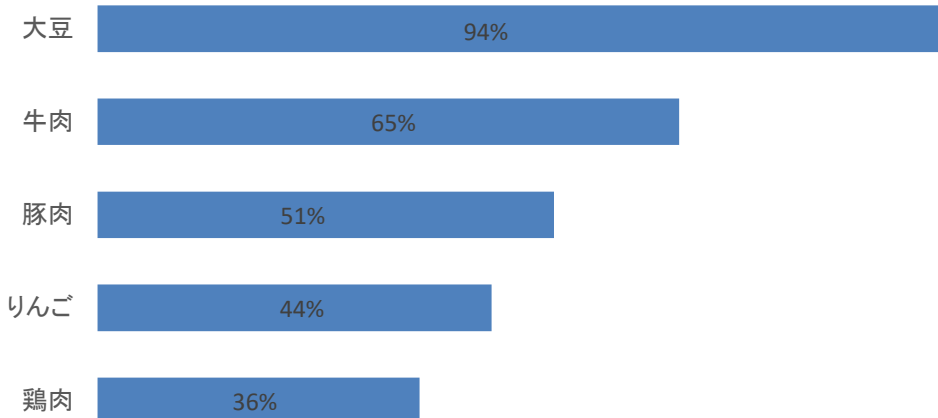


出典: 令和元年 木材需給表(農林水産省 林野庁)
日本の海運 SHIPPING NOW2020-2021(公益財団法人: 日本海事広報協会)

【食 関連物資】



＝具体的な品目＝



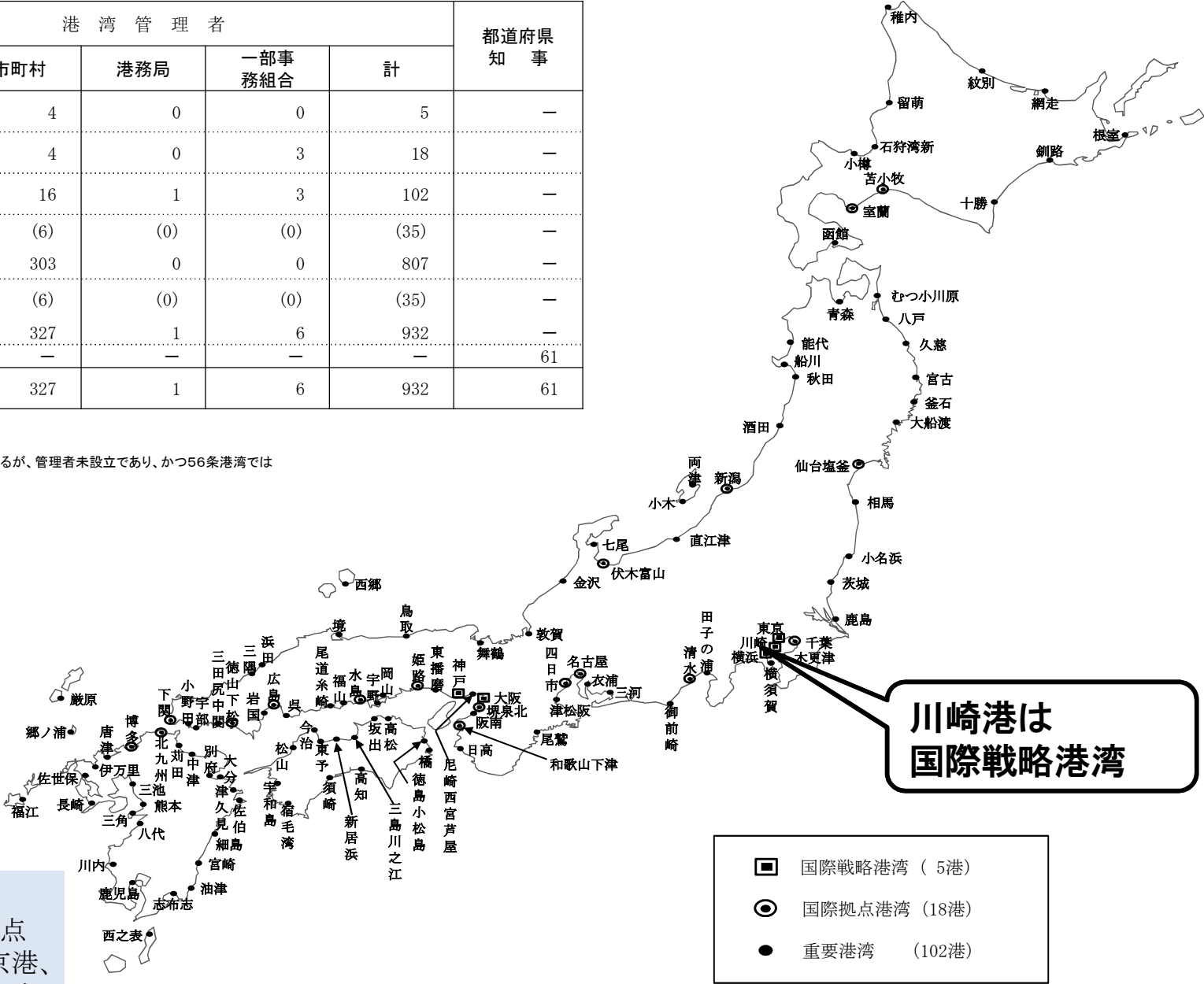
出典: 令和元年度 食料需給表(農林水産省)

令和2年4月1日現在

区 分	総数	港 湾 管 理 者					都道府県 知 事
		都道府県	市町村	港務局	一部事 務組合	計	
国際戦略港湾	5	1	4	0	0	5	—
国際拠点港湾	18	11	4	0	3	18	—
重 要 港 湾	102	82	16	1	3	102	—
(うち避難港)	(35)	(29)	(6)	(0)	(0)	(35)	—
地 方 港 湾	807	504	303	0	0	807	—
(うち避難港)	(35)	(29)	(6)	(0)	(0)	(35)	—
計	932	598	327	1	6	932	—
5 6 条 港 湾	61	—	—	—	—	—	61
合 計	993	598	327	1	6	932	61

出典: 国土交通省港湾局総務課調べ。

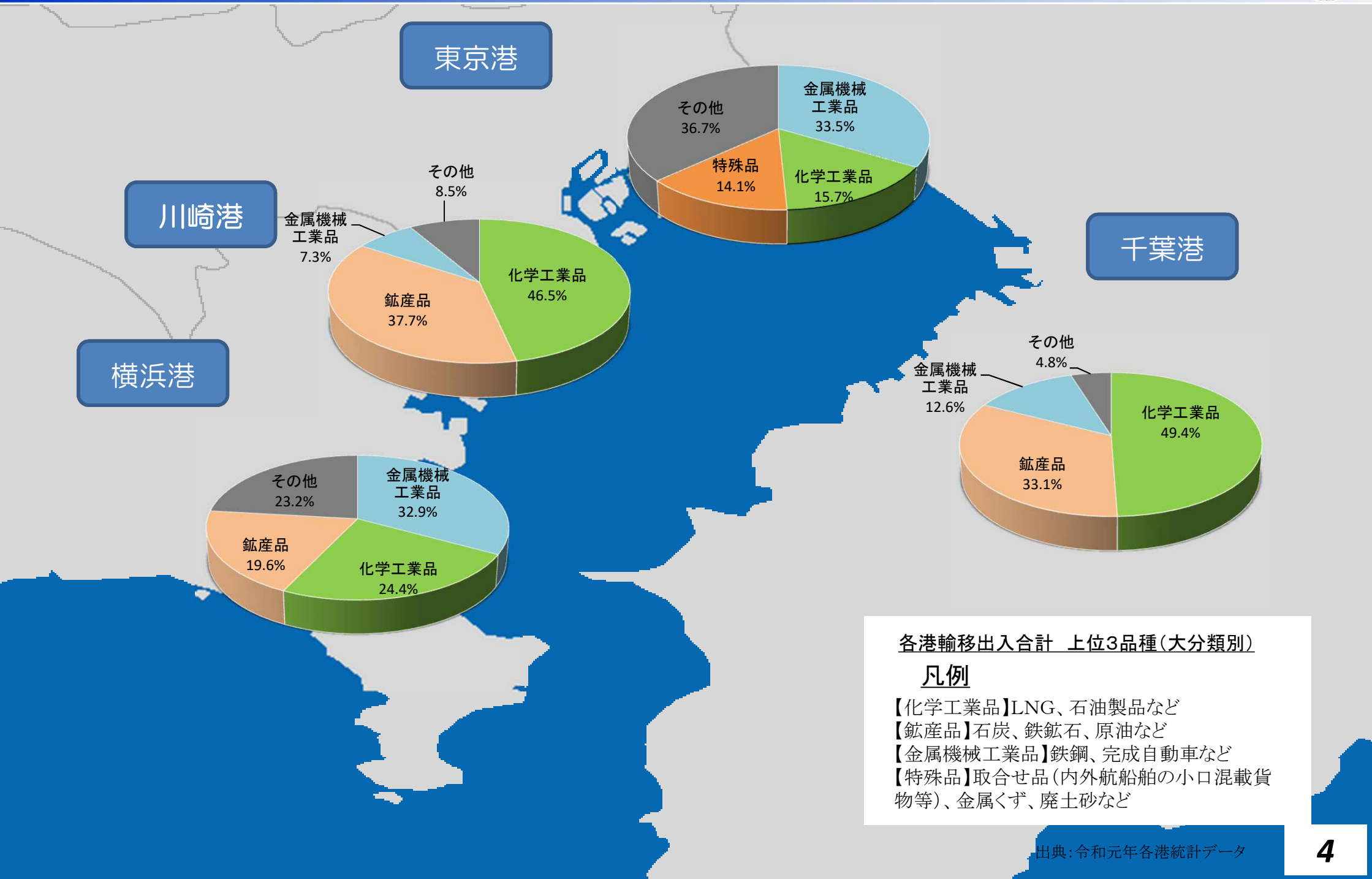
(注) 東京都の洞輪沢港は避難港指定を受けているが、管理者未設立であり、かつ56条港湾ではないので本表より除く。



【国際戦略港湾とは】

国際戦略港湾は、国際競争力の強化を重点的に図る必要がある港湾で、国内では、東京港、横浜港、川崎港、大阪港、神戸港の5港が指定されています。

川崎港の特色



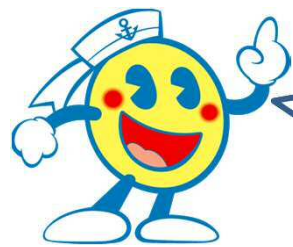
川崎港の取扱貨物

港湾取扱貨物量ランキング(令和元年)

(単位:万トン)

順位	港名称	合計	輸出	輸入	内貨
1	名古屋港	19,444	5,285	7,353	6,806
2	千葉港	14,001	931	7,447	5,623
3	横浜港	11,062	2,965	5,030	3,068
4	苫小牧港	10,729	118	1,630	8,981
5	北九州港	9,860	728	2,337	6,795
6	神戸港	9,401	2,293	2,859	4,249
7	東京港	8,781	1,273	3,576	3,931
8	大阪港	8,519	901	2,666	4,952
9	水島港	8,057	952	4,049	3,056
10	川崎港	7,939	840	4,517	2,581
11	堺泉北港	6,925	388	2,054	4,482
12	大分港	6,689	679	2,959	3,051
13	鹿島港	6,163	675	3,708	1,780
14	四日市港	6,087	463	3,559	2,064
15	木更津港	6,054	362	4,096	1,597
16	徳山下松港	5,065	338	1,605	3,122
17	喜入港	4,866	0	2,378	2,489
18	仙台塩釜港	4,363	173	1,327	2,862
19	福山港	4,069	578	2,447	1,043
20	博多港	3,714	885	1,142	1,686

出典:国交省港湾統計年報(令和元年)



川崎港の取扱貨物量
(令和元年)は全国 **第10位**

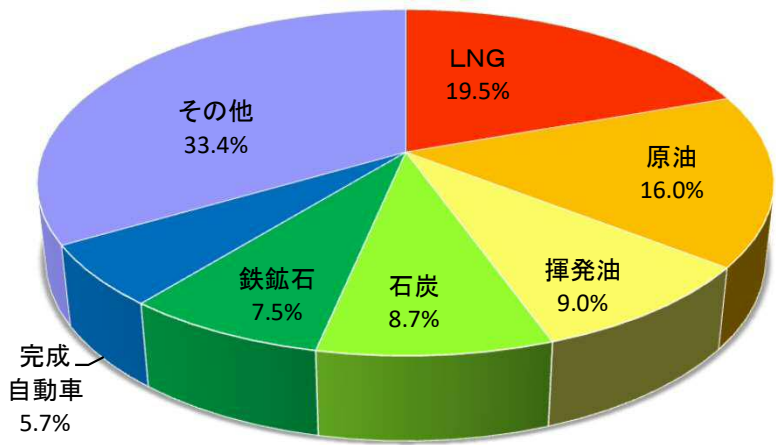
貿易額(令和元年分)

出典:川崎税関支署「川崎港貿易概況(2019年分)」

輸出額 1兆1,167億40百万円
輸入額 2兆3,571億47百万円

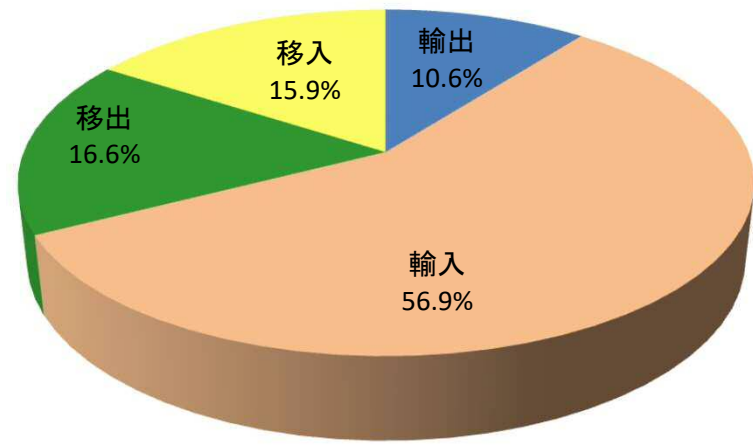
取扱貨物の種類

輸移出入合計 上位6品種(中分類別)



出典:川崎港統計年報(令和元年)

出入貨物の割合

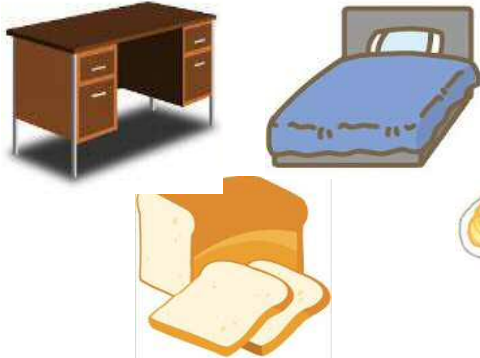


出典:川崎港統計年報(令和元年)

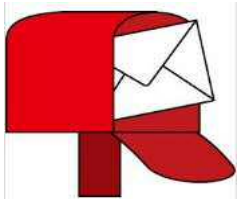
市民生活に身近な川崎港

取扱貨物の種類

家具や雑貨、小麦、冷凍食品など日常生活に身近な商品



- ・川崎臨海部の工場で1日に生産される小麦粉は約1,500トン
(国内で生産される小麦粉の1割)
※食パン600万斤分
または、うどん 1,800万食分に相当
- ・海外との間で輸出入されている船便の国際郵便物及び小包は全て川崎港を經由



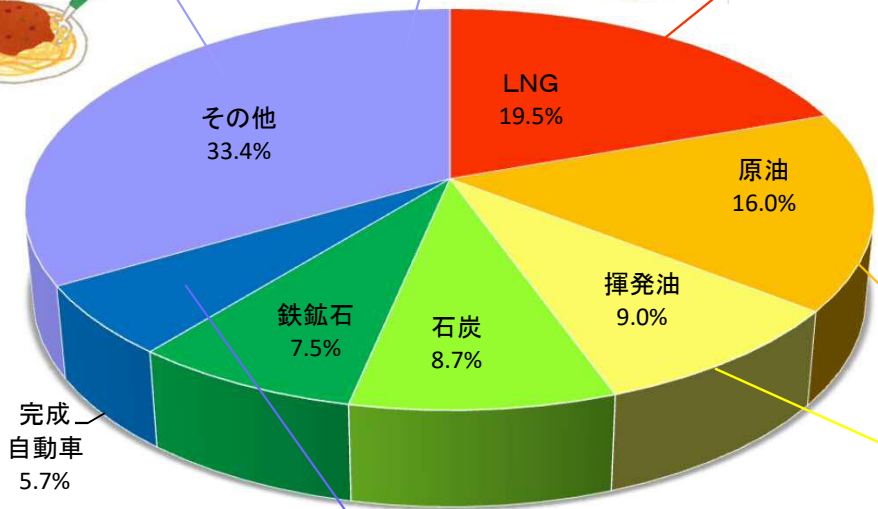
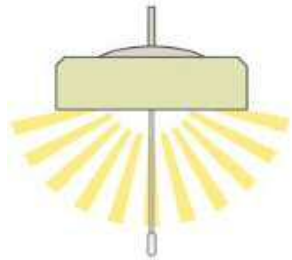
川崎港の冷凍冷蔵倉庫群の設備能力は約100万トン
首都圏(1都7県)4,400万人の食を支えています

出典: 神奈川県冷蔵倉庫協会HP
総務省統計局HP



川崎臨海部の発電能力は約758万kW
一般家庭の消費電力は首都圏で約769万kW

出典: 川崎市臨海部国際戦略本部
(平成30年7月現在)



出典: 川崎港統計年報(令和元年)

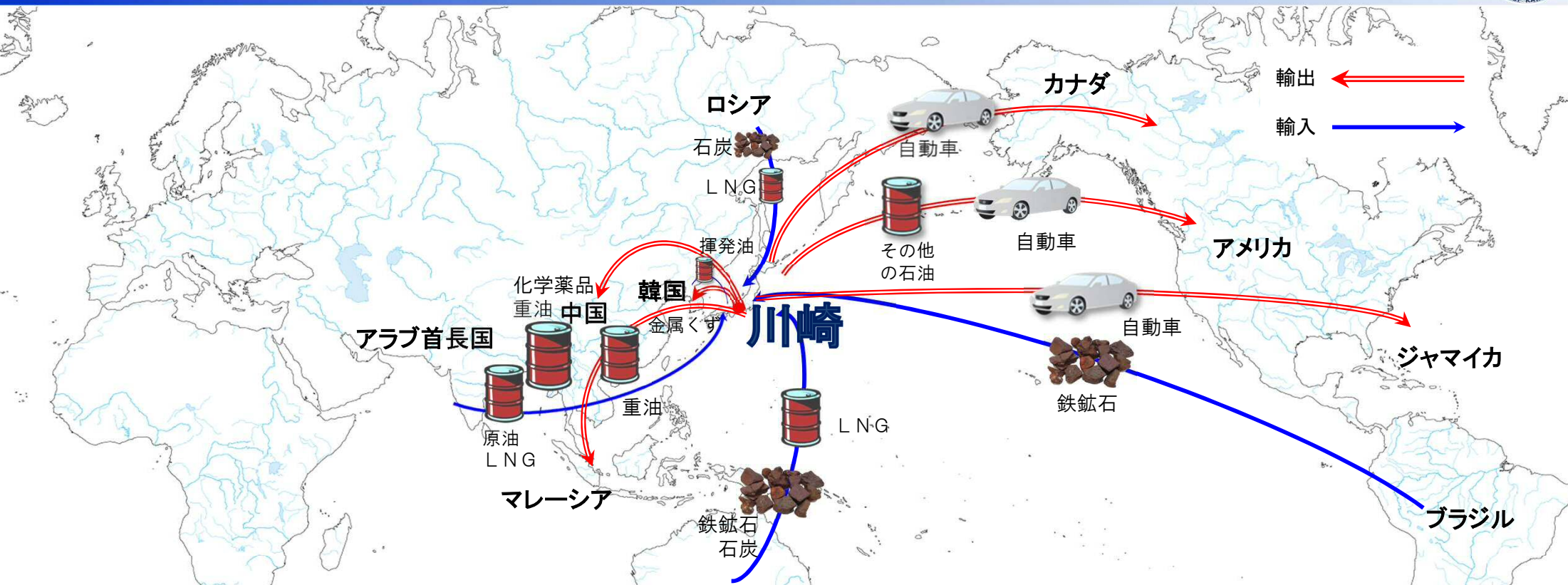


多くの電力を供給し、ガソリンや灯油など様々な燃料として利用

建築、自動車、家電など日常生活に利用される鋼板



川崎港と世界のむすびつき



輸出

完成自動車(新車+中古車)の輸出台数は全国8位
うち中古車の輸出台数は全国5位

(出典: 数字で見る港湾2020 令和元年実績)

(単位: 万トン、%)

品 種	令和元年		主な輸出先		
	数量(万トン)	構成比(%)	1	2	3
完成自動車	194	23.1	アメリカ (66%)	ジャマイカ (7%)	カナダ (5%)
化学薬品	143	17.0	中国 (73%)	台湾 (12%)	韓国 (11%)
金属くず	111	13.2	韓国 (49%)	ベトナム (37%)	台湾 (7%)
重 油	109	12.9	マレーシア (22%)	香港 (20%)	中国 (19%)
その他の 石 油	103	12.2	アメリカ (25%)	イギリス (18%)	オーストラリア (13%)
そ の 他	182	21.6	-	-	-
総 合 計	840	100.0	アメリカ (27%)	中国 (18%)	韓国 (13%)

輸入

LNGの取扱量は全国1位

(出典: 各税関貿易統計 令和2年実績)

(単位: 万トン、%)

品 種	令和元年		主な輸入先		
	数量(万トン)	構成比(%)	1	2	3
L N G	1548	34.3	オーストラリア (41%)	アラブ首長国 (19%)	ロシア (11%)
原 油	1136	25.2	アラブ首長国 (30%)	サウジアラビア (24%)	クウェート (17%)
鉄 鉱 石	598	13.2	オーストラリア (66%)	ブラジル (18%)	フィリピン (6%)
石 炭	529	11.7	オーストラリア (62%)	インドネシア (13%)	ロシア (11%)
揮 発 油	199	4.4	韓国 (38%)	インド (10%)	サウジアラビア (10%)
そ の 他	507	11.2	-	-	-
総 合 計	4517	100.0	オーストラリア (30%)	アラブ首長国 (15%)	サウジアラビア (7%)

出典: 川崎港統計年報(令和元年)

川崎港港湾計画

川崎港港湾計画について

- ▶ 港湾計画とは、港湾空間（陸域・水域）において、開発、利用及び保全を行うにあたっての指針となる基本的な計画（港湾法第3条の3に規定された法定計画）
- ▶ 川崎港港湾計画は平成26年に改訂し、概ね10～15年先である平成30年代後半を目標年次としている
- ▶ 目標年次が近付きつつあること、また、川崎港を取り巻く社会情勢が大きく変化していることから港湾計画の次期改訂に向けた検討を令和3年度から開始する

港湾計画（平成26年改訂）の方針

京浜3港の連携強化により、首都圏の産業の競争力を高め、産業・雇用・暮らしを守り発展させることを目指して、“産業活動を支え、地域経済や市民生活の安定・向上に貢献する川崎港”を実現するため、以下の方針のもと、港湾計画を改訂している。

【産業・物流機能】 港湾機能の再編・拡充による物流機能の強化

- ① 外内貿コンテナ機能の強化及びターミナルの拡張
- ② 用地の拡張等により、自動車関連貨物取扱機能強化
- ③ 既存埠頭の再編・集約化により、バルク貨物の取扱機能強化
- ④ 臨港交通体系の充実
- ⑤ 小型船だまりの機能強化

【防災機能】 大規模地震発生時の支援機能の強化

- ① 大規模地震対策の強化
- ② 小型船だまり整備による海上輸送ネットワーク機能強化

【エネルギー機能】 エネルギー供給機能の維持・支援

- ① 首都圏の生活活動や市民生活を支える既存機能の維持・支援

【環境・交流機能】 港湾空間の特色を活かしたアメニティ空間の充実

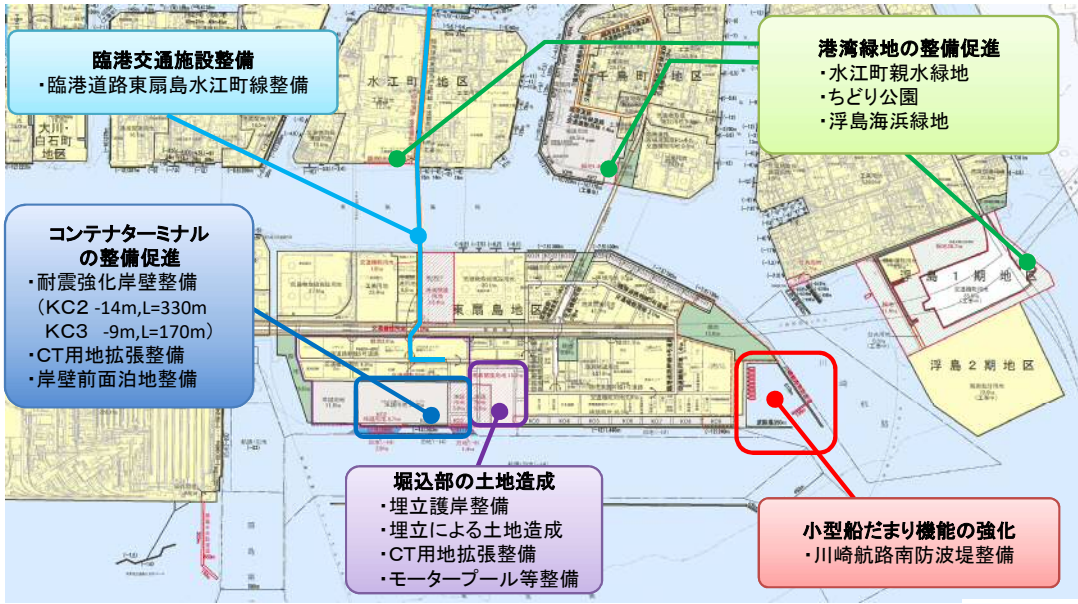
- ① 地域住民が海に親しむことのできる開放的な親水空間の創出
- ② 建設発生土等を適正に処分する海面処分場の確保
- ③ 自然環境と共生する港づくりへの取り組み

川崎港の目標年次における取扱貨物量

	基準値 【H22年実績値】	目標年次 【H30年代後半】
全体 貨物量	8,620万トン	8,290万トン
専用埠頭 貨物量	7,740万トン	7,010万トン
公共全体 貨物量	880万トン	1,280万トン
うちコンテナ 貨物量	29万トン	452万トン
コンテナ 個数	3万TEU	40万TEU

※貨物量は京浜3港で調整済み

港湾施設計画

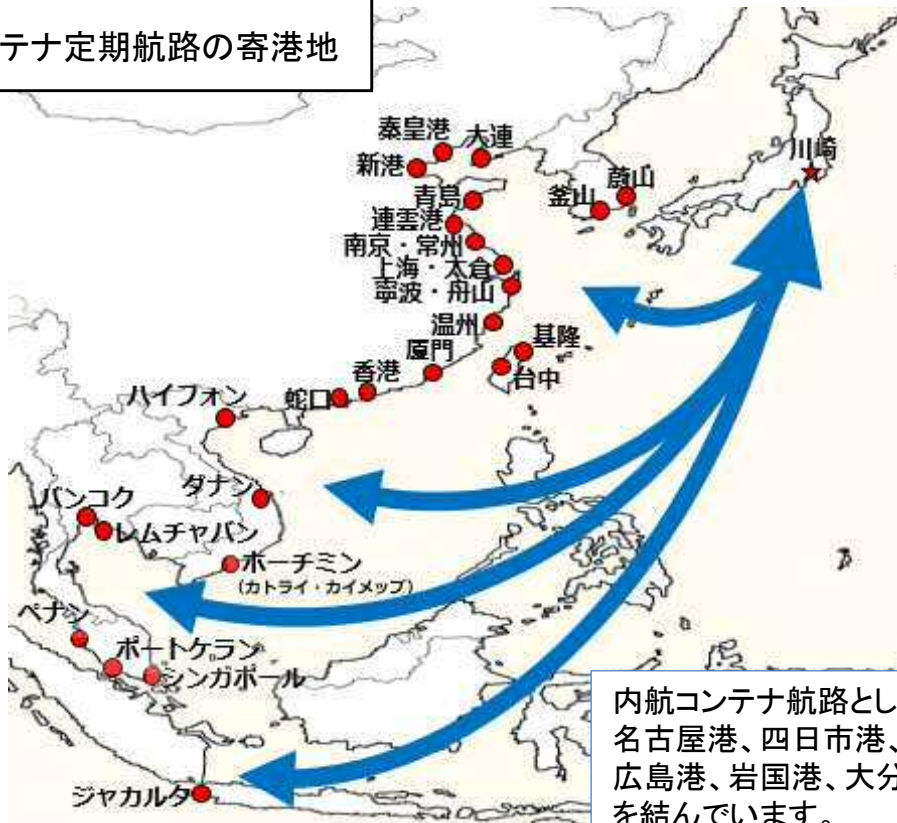


コンテナ定期航路とコンテナ貨物取扱量の増加

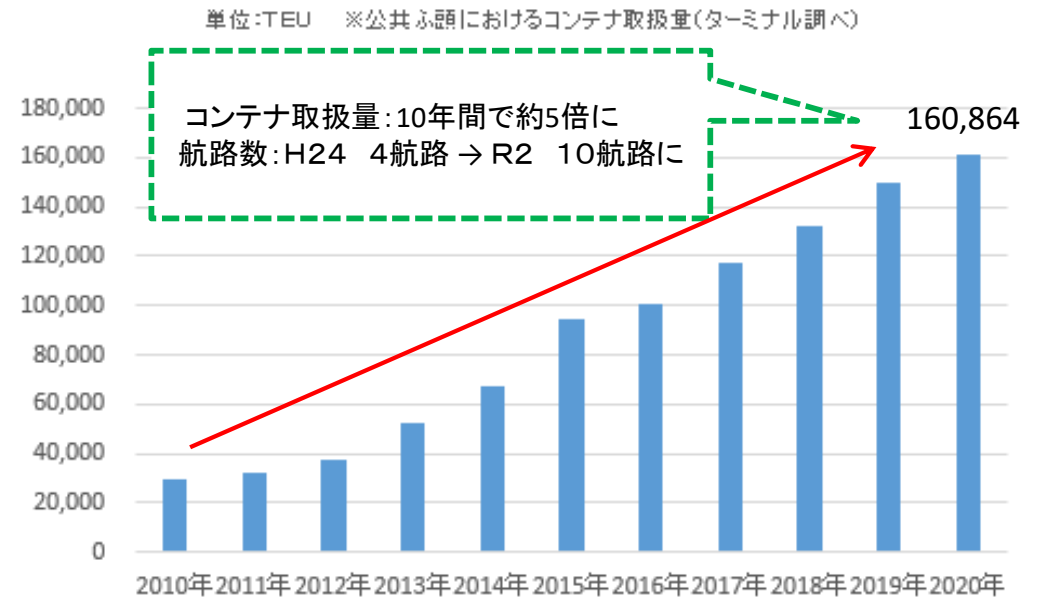
- 川崎港の振興、発展のため、官民一体となって国内外の荷主や船社に対して積極的な誘致活動を行っています。
- 平成24年以降の航路開設に伴い、中国・東南アジアとの輸出入を中心に順調に取扱貨物量が増加しており、公共ふ頭におけるコンテナ貨物取扱量は6年連続で過去最高を記録しています。
- 平成30年にはタイ航路をはじめとする4航路が開設された結果、東扇島冷蔵冷凍倉庫群との更なる相乗効果が生まれています。
- 今後も、横浜川崎国際港湾株式会社(YKIP)と連携しながら、補助制度等を活用しつつ、新規航路開設・コンテナ貨物取扱量増への取り組みを進めてまいります。

今後も増大するアジアの輸入貨物の取扱拠点機能を担う

コンテナ定期航路の寄港地



内航コンテナ航路として名古屋港、四日市港、広島港、岩国港、大分港を結んでいます。



コンテナの主要品目と主な仕出地(令和元年)

＜輸入＞				＜輸出＞			
		(トン)				(トン)	
品目	主な仕出し地	取扱量		品目	主な仕向け地	取扱量	
1 家具装備品	中国	ベトナム	804,989	1 自動車部品	インドネシア	台湾	83,774
2 その他日用品(日用雑貨など)	中国	ベトナム	282,893	2 化学薬品	中国	シンガポール	62,842
3 製造食品(冷凍食品など)	タイ	中国	116,874	3 再利用資材(古紙など)	中国	ベトナム	38,486
4 玩具	ベトナム	中国	40,307	4 合成樹脂など	マレーシア	中国(香港)	19,916
5 衣服・身廻品・はきもの	ベトナム	中国	28,189	5 産業機械	中国	タイ	15,442

※公共ふ頭におけるコンテナ取扱量

川崎港のコンテナ貨物補助制度

川崎港のコンテナ補助制度について(令和3年4月1日現在)

1 制度の概要

- ◆国際コンテナ戦略港湾である京浜港の国際競争力強化に向けた取組の一環として、平成23年度から実施
- ◆近年の川崎港コンテナターミナル取扱貨物量の増加に貢献
- ◆川崎港を取り巻く状況の変化に応じ、定期的に制度の見直しを実施
- ◆補助額(基本) 1FEU(※)あたり5千円または3千円、上限額2千万円(1事業あたり) ※FEU:40フィートコンテナ1本を表す単位

2 制度の内容

◆9事業を実施

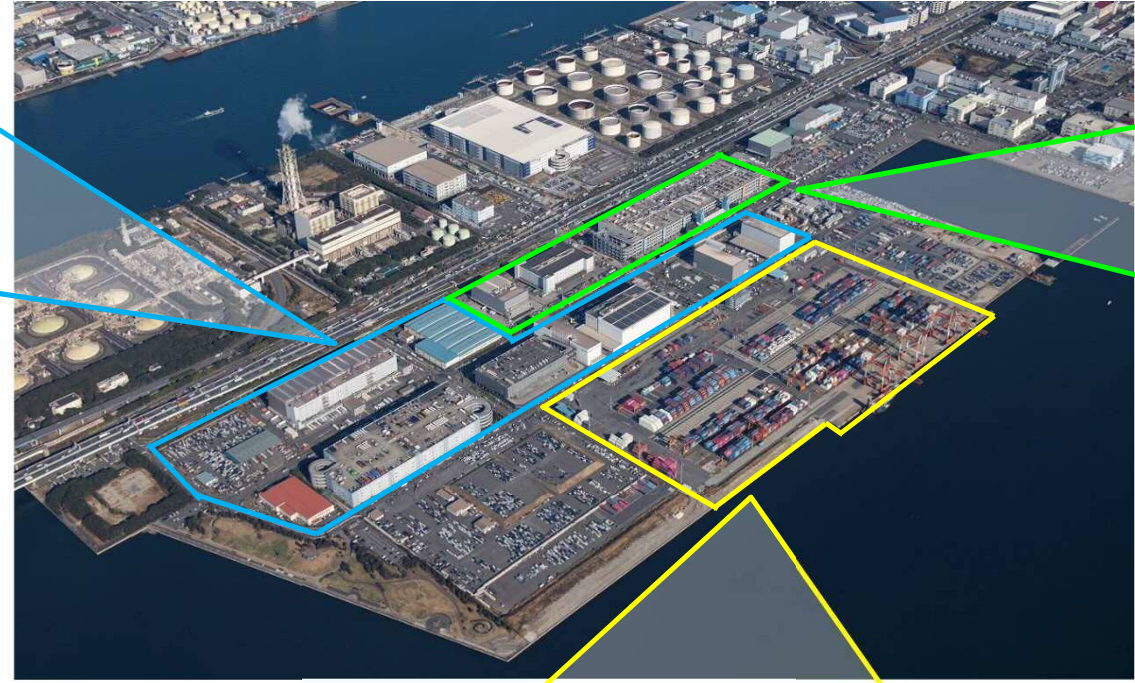
川崎港利用促進コンテナ貨物補助	荷主向け	① 新規事業	新たに川崎港コンテナターミナルを利用し、外国諸港湾又は国内諸港湾との間で海上コンテナ貨物を輸出、輸入、移出又は移入する事業
		② 継続事業	前年度までに新規事業として補助金交付決定を受けた事業で、当該年度においても継続する事業。(事業を開始した日から3年を経過していない事業)
		③ リーファー貨物促進事業	川崎港コンテナターミナルと外国諸港湾又は国内諸港湾の間でリーファー貨物を輸出、輸入、移出又は移入する事業
		④ アジア貿易促進事業	川崎港コンテナターミナルと、アジアの諸港湾を直接結ぶ航路の維持等に重要な海上コンテナを輸出、輸入する事業
		⑤ ラウンドユース促進事業	川崎港コンテナターミナルを基点として同一の海上コンテナを実入り往復陸送する事業
川崎港利用促進コンテナ貨物補助	船社向け	⑥ 新規航路開設事業	川崎港コンテナターミナルと外国諸港湾又は国内諸港湾との間で、新たに定期航路を開設し、航路開設日から2年を経過していない事業
		⑦ 航路改編事業	航路改編等により、川崎港コンテナターミナルと国内外の新たな寄港地との間で海上コンテナを輸出、輸入、移出又は移入する事業で、寄港を開始した日から2年を経過していない事業
		⑧ 増加事業	⑥及び⑦の事業以外の寄港地と川崎港コンテナターミナルとの間で、海上コンテナを輸出、輸入、移出又は移入する事業で当該年度の取扱貨物量が前年度の取扱貨物量より増加する事業
川崎市市内中小企業利用促進コンテナ貨物補助		⑨ 市内中小企業補助	船舶(はしけを含む。)により川崎港コンテナターミナルにおいて海上コンテナを輸出、輸入、移出又は移入する事業 市内中小企業補助制度については補助額 1TEUあたり5万円 上限額60万円

コンテナターミナルを核とした東扇島の物流機能の強化

東扇島の川崎港コンテナターミナルの背後には、かわさきファズ物流センターや「東扇島総合物流拠点地区」進出企業をはじめ物流施設が多く立地し、活発な物流活動が展開されています。東扇島地区全体の就労者は約1万1,000人、冷凍冷蔵倉庫の設備能力は約100万トンに達し、我が国随一の集積を誇っています。これらの施設と更なる連携を図り、東扇島のさらなる利用促進に向けた取組を進めていきます。

東扇島総合物流拠点

- 川崎港コンテナターミナル背後の約23haを、「東扇島総合物流拠点地区」に位置付け。
- 「東扇島総合物流拠点地区形成計画」に基づき、2期にわたって進出企業の公募を実施。高機能物流施設が進出し、コンテナターミナル近接という特徴を活かした事業展開を行っている。
- 約2,500人が就労。
(令和2年3月時点)



かわさきファズ物流センター

- 冷凍冷蔵倉庫のほか、高圧電力、蒸気、排水施設等の設備を備え、様々な流通加工に対応可能な総合物流センター
- A、B、C棟の全3棟、延床面積は合計23万㎡。施設全体が総合保税地域。
- 施設の入居率100%、19社が入居。約2,000人が就労。
(令和2年3月時点)
- 東扇島総合物流拠点地区協議会の事務局として、地区のリーディングカンパニーとしての役割を担う。

進出事業者一覧

企業名	施設概要
POSCO Japan PC(株)	鋼材の輸出入、保管、加工及び販売
山九(株)	日用雑貨等を取り扱う総合物流センター
(株)ニチレイロジグループ	冷凍冷蔵食品等の輸入・集配
(株)ヨコロジ	中古自動車の輸出及び通関代行
日本郵便(株)	郵便物(国際・国内)の配送センター
(株)松岡	冷凍冷蔵食品等の輸入・集配
山手冷蔵(株)	冷凍冷蔵食品等の輸入・集配
(株)マルハニチロ物流	冷凍冷蔵食品等の輸入・集配
荒井商事(株)	中古自動車のオークション及び輸出

川崎港コンテナターミナル

- 平成28年3月に横浜川崎国際港湾(株)が京浜港の港湾運営会社に指定され、横浜港・川崎港の一体的運営と京浜港の国際競争力強化に向けた取組を行っている。
- 横浜川崎国際港湾・川崎臨港倉庫埠頭共同事業体の指定管理により運営。
- ターミナル概要(表)

面積	245,000㎡
ガントリークレーン	定格荷重40.6t×3基
トランスファークレーン	定格荷重40.6t×9基
岸壁	水深-14m、バース延長431m、エプロン幅20m
岸壁荷役	364日・24時間対応

コンテナ事業の推進について

1 令和3年度以降の官民目標

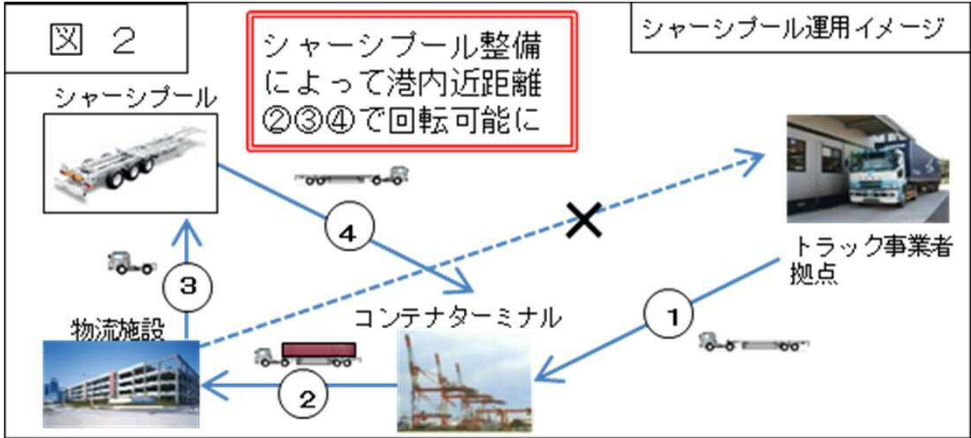
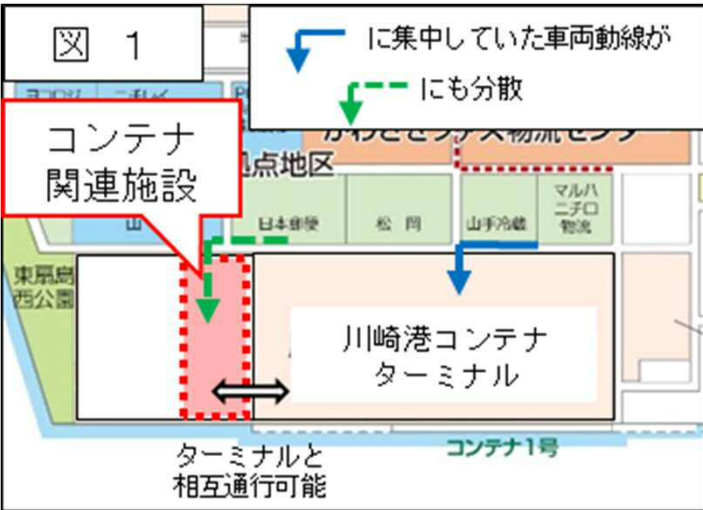
市民生活・地域経済を支える川崎港のさらなる利用促進を図るため、官民で構成される川崎港戦略港湾推進協議会にて令和3年度以降の目標を設定し、官民一体となって貨物量増加のための取組を推進しています。

【令和3年度以降の官民目標】
 令和7年度までに年間貨物量20万TEUを達成し、当該貨物量に対応できるよう、コンテナ関連施設の整備や荷役機械の導入など、ソフト・ハード両面で官民一体となった取組を行う。

2 コンテナ関連施設の整備

増加するコンテナ貨物に対応するため、コンテナ関連施設（バンプール・シャーシプール）の整備を進めます。

名称	概要	効果
バンプール	空コンテナ置場	蔵置能力向上、ターミナルとの車両動線分散によるゲート周辺混雑の改善。(図1)
シャーシプール	コンテナ輸送トラック台車部分の駐車施設	ターミナル・物流施設間の輸送効率が向上し、港内物流の円滑化、荷主サービスの向上に寄与。(図2)



3 コンテナターミナルの管理運営

民間活力を導入し段階的な民営化を図るため、平成26年4月から指定管理者による管理・運営を実施しています。
 コンテナ関連施設完成後（令和5年度以降）については当該施設を指定管理対象施設に追加し、ターミナルとの一体的管理を目指します。

＜現在の指定管理状況＞

指定期間	令和3年4月1日～令和5年3月31日（2年間）
指定管理者	横浜川崎国際港湾・川崎臨港倉庫埠頭共同事業体
業務内容	①施設の利用許可等に関する業務 ②施設の保守管理・軽易工事に関する業務などの管理業務 ③ポートセールスなどの集貨策

4 想定スケジュール

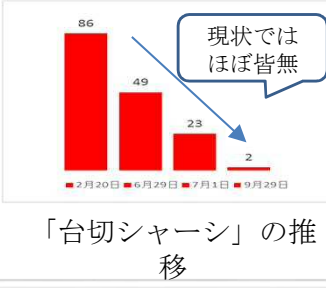
	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
貨物取扱目標	15万TEU					20万TEU
コンテナ関連施設整備 (バンプール・シャーシプール)	設計	整備工事	一部供用	全部供用		
指定管理期間	第2期 指定管理期間	第3期 指定管理期間	第4期 指定管理期間 ⇒コンテナ関連施設を追加			

東扇島環境改善対策事業

これまでの取組

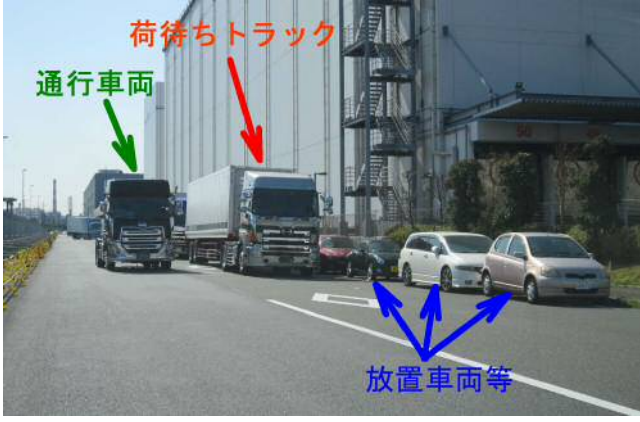
近年、東扇島へ進出する企業が増え、またコンテナ取扱量の増加に伴って、島内に流入する車両が多くなりました。それに合わせるように**放置された車両や投棄されるゴミも顕著**になってきました。そのため、円滑な通行確保や美観のため、従前の取組に加えて更なる対策強化を図りました。

- **台切りシャーシ対策の強化（監視指導員の配置、「警告フラッグ」取付等）**
- **監視カメラの設置**
- 臨港道路における定期的な委託による清掃
- 官民合同の一斉清掃活動及び監視パトロールの実施
- 中央分離帯及び歩道植栽改良工事
- **ポイ捨てNOステッカーの配布**



現状と継続課題

- 放置されている台切シャーシについては、取り締まり強化によりほぼ解消されたものの、**通勤車両やナンバーの無い車の放置が常態化**しており、依然として通行の妨げとなっています。
- 粗大ごみの不法投棄監視やドライバーに対する**ポイ捨て抑止の継続的な周知**が必要です。



新たな取組

新取組1：通勤車両等対策の継続と立地企業へのヒアリング調査及び指導の徹底

新取組2：監視カメラの運用による抑止効果の向上

新取組3：散乱防止指導員等による巡回キャンペーンの実施

- 目指す効果1：監視指導員の指導等により、臨港道路上の通勤車両等が減少し、島内の効率的な物流が図られます。
- 目指す効果2：監視カメラによる監視体制が認知されること、また、散乱防止指導員等による巡回キャンペーン等の啓発活動を実施することにより、不法投棄等の防止が図られ、島内のイメージ向上に繋がります。

監視カメラ



（東扇島内に45台設置）



警告書貼付

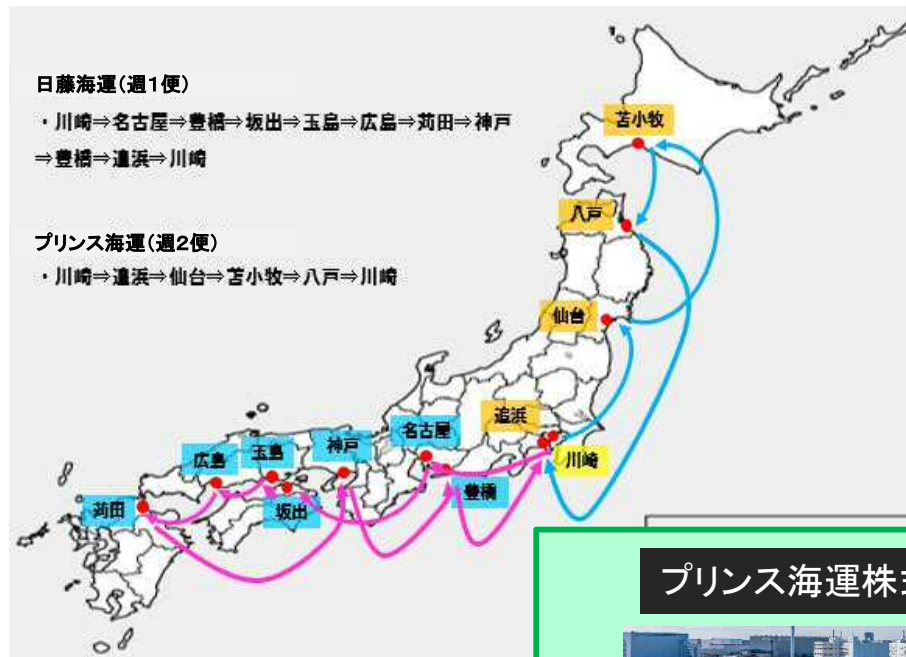


取組の方向性とスケジュール

対策		令和3年度			
【美化・放置車両】 監視カメラの運用	通年の取組み	悪質な場合は警察連携して対応		効果の検証 新たな対策の検討	
	画像データの分析・HP等への掲載				
新規取組 【美化】 散乱防止指導員等の巡回キャンペーン（環境局と連携）		●	●	●	●
		キャンペーンの実施	キャンペーンの実施	キャンペーンの実施	キャンペーンの実施
【通勤車両等】 立地企業へのヒアリング調査・新たな対策の検討		ヒアリング調査・指導（台切シャーシ対策は継続実施）			
		新たな対策の検討・実施（ハード及びソフト対策）			

内航RO-RO船による拠点港

現在、川崎港には、内航RO-RO船により、苫小牧港・仙台塩釜港・八戸港や、名古屋港・豊橋港・神戸港・広島港等と航路が結ばれています。環境対策としてのモーダルシフトや、社会的にも課題となっているトラックドライバー不足への対応など、内航RO-RO船への果たす役割は大きく、川崎港は、東西内航船の拠点港としての役割を果たしていきます。



【RO-RO船荷捌きの様子】



日藤海運株式会社



【日侑丸 NICHYU-MARU】

竣工年月：2019年1月
 総トン数：10,083t
 全長：159.90m
 馬力：14,330馬力
 全幅：25.00m
 速力：20.7ノット
 積貨能力：乗用車900台
 トレーラー52両

【主な貨物】 完成自動車

プリンス海運株式会社



【玄武 GENBU】

竣工年月：2017年1月 総トン数：7,971 t
 全長：149.00m 馬力：11,040馬力
 全幅：23.80m 速力：20.5ノット
 積貨能力：乗用車600台 トレーラーシャーシ50本

【主な貨物】 完成自動車 中古の建設機械 飲料 鑄鉄管 製紙



【デイブレイクスベル DAYBREAK 'S BELL】

竣工年月：2016年9月 総トン数：7,971 t
 全長：149.00m 馬力：11,040馬力
 全幅：23.80m 速力：20.5ノット
 積貨能力：乗用車600台 トレーラーシャーシ50本

東扇島堀込部土地造成事業

【事業目的】

川崎港において増加するコンテナ貨物や主要貨物である完成自動車に対応するための用地等を確保するため、東扇島堀込部において建設発生土を埋立用材として受入れて、海面埋立による土地造成を行う。

【事業概要】

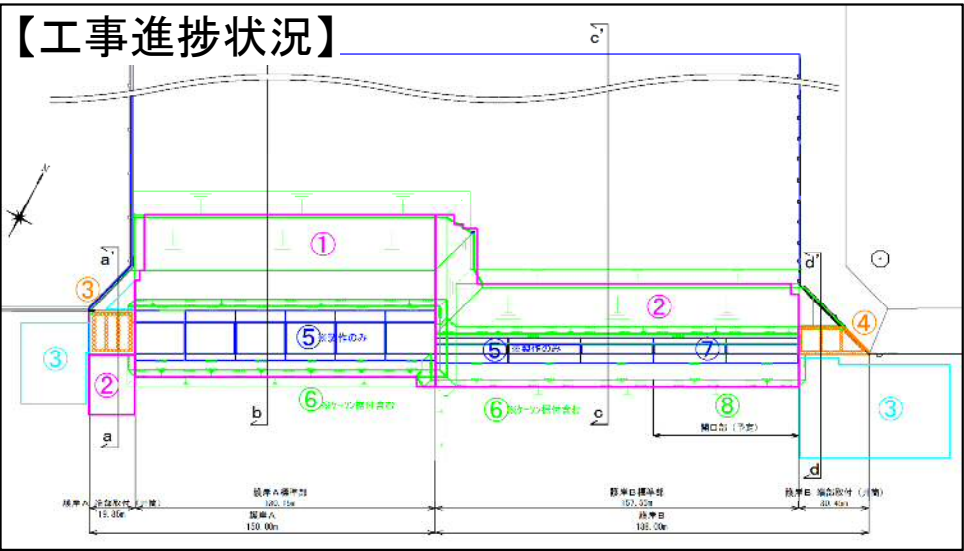
事業主体：川崎市
 事業期間：平成30年度～令和9年度
 埋立区域：川崎区東扇島地先の公有水面
 埋立面積：約13.2ha
 埋立用材：建設発生土
 埋立土量：約140万m³



事業名	種別	概算額	備考
埋立事業	護岸築造工事費	128億円	JR東海負担
	埋立管理費	71億円	
	事務費	1億円	
基盤整備事業費		40億円	川崎市負担
合計		240億円	

※リニア中央新幹線梶ヶ谷非常口から搬出する建設発生土を埋立用材として受入れ、受入れに必要な護岸築造工事及び埋立管理等の費用は、東海旅客鉄道株式会社の負担とする。(平成30年3月基本協定締結)

【工事進捗状況】



- ①、②：地盤改良工(完了) ⑤、⑦：ケーソン製作工(⑤完了)
 ③、④：井筒式護岸築造工(完了) ⑥、⑧：護岸築造工(⑥施工中)

※⑦、⑧は開口部のため、海上投入(船による直接投入)による埋立の完了にあわせて実施予定です。



臨港道路東扇島水江町線整備の推進

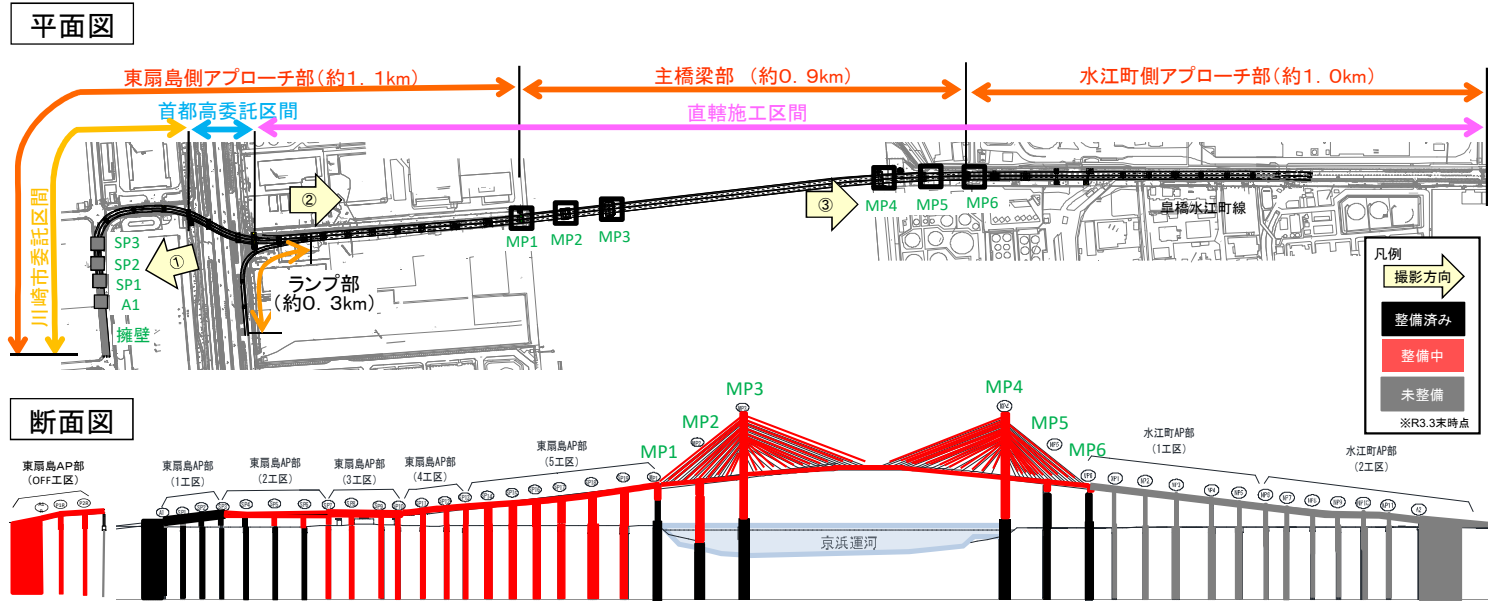
事業目的

東扇島～水江町地区臨港道路整備事業は、川崎港港湾計画に臨港交通施設として位置づけられ、京浜運河を挟む東扇島地区と水江町地区を橋梁で結びます。

本事業は、アクセス性向上による物流の効率化や交通の分散化による**交通渋滞の緩和**を図ることによる**物流機能の強化**、発災時の緊急物資輸送ルート多重化を図ることによる**防災機能の強化**を目的としています。また、臨海部の自動車交通渋滞の緩和、朝夕の交通混雑の緩和により、通勤の利便性が向上し、東扇島に立地している**企業等の雇用の増加や業務の拡大**も期待されています。

事業概要

整備箇所：川崎港 東扇島～水江町
 整備施設：臨港道路 延長3.0km
 事業期間：平成21年度～令和5年度
 総事業費：980億円
 事業主体：国土交通省 関東地方整備局
 道路規格：第4種第1級 往復4車線



① 東扇島AP部1工区 (令和2.9施工完了) 上部工完成



② 東扇島AP部5工区 橋脚下部施工状況

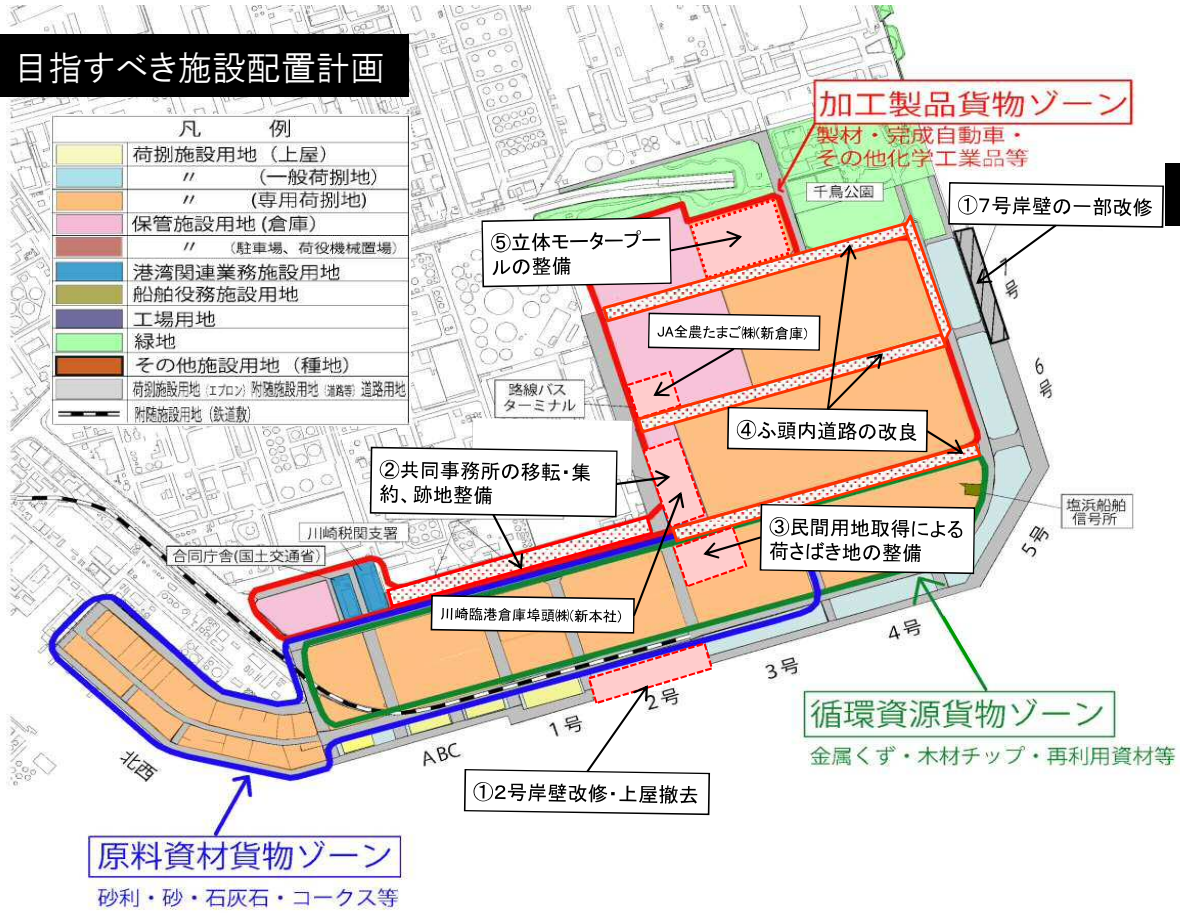


③ 橋脚MP5,6 (令和2.9施工完了) 橋脚下部完成

千鳥町再整備計画

千鳥町地区の公共埠頭は、大部分の施設が建設後約50年が経過しており、施設の老朽化や取扱貨物の変化に伴う各施設の配置が、非効率となっているため、埠頭の再整備が求められています。このため、平成18年11月に「川崎港千鳥町再整備の基本的な考え方」、平成22年8月に「川崎港千鳥町再整備計画」を策定し、公共埠頭機能の再構築を図っています。

目指すべき施設配置計画



施設配置計画にあたっての視点

- (1) 東扇島との機能分担によるバラ貨物拠点の形成
- (2) 荷姿の同じ貨物を集約
- (3) 将来動向への対応

整備内容

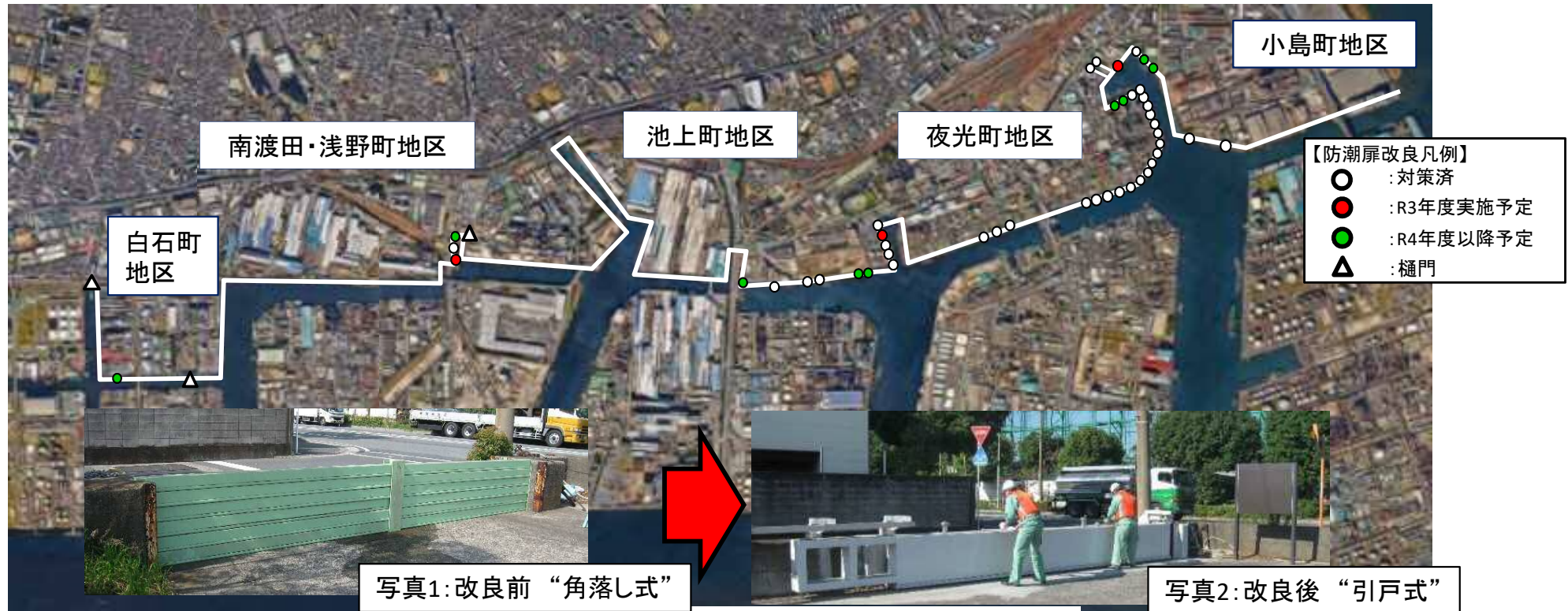
- (1) 岸壁の改修
- (2) 上屋の改良
- (3) 上屋の撤去
- (4) 倉庫の再配置・高度化
- (5) 共同事務所等の高度化
- (6) 産業廃棄物処理施設用地の転換
- (7) 鉄道敷の一部撤去・改良
- (8) ふ頭内道路の改良
- (9) 荷捌地の補修
- (10) 緑地の整備
- (11) 自然エネルギーの活用
- (12) 駐車場等の整備
- (13) 岸壁の耐震化
- (14) 緑地の整備

これまでの成果

- ①2号岸壁改修・上屋撤去、7号岸壁の一部改修
- ②共同事務所の移転・集約、跡地整備
- ③民間用地取得による荷さばき地の整備
- ④ふ頭内道路の改良
- ⑤立体モータープールの整備



海岸保全施設の改良



1) 経緯

川崎港の海岸保全施設は、昭和34年の伊勢湾台風を契機に高潮対策事業として、防潮堤を整備。そのうち、民間の企業活動等に支障がある箇所については、防潮扉を整備。

2) 課題

- ・施設の老朽化
- ・多くの施設が民間企業の敷地内に整備されており、防潮扉の閉鎖作業は民間事業者に依頼しているが、角落し式の防潮扉の閉鎖は人力で行うことから、相当な時間と労力がかかる。
- ・東日本大震災では防潮扉の閉鎖作業員に被害が多くあり、作業員の安全性を確保が必要。
- ・2019年の台風15号や19号など、関東地方に接近する台風が大型化している。

3) 解決策

- ・長寿命化計画に基づく適切な維持管理の推進
- ・防潮扉を迅速に閉鎖できるよう角落し式から引戸式等への改良を行う。
- ・企業との調整の結果、防潮扉を廃止する事が可能な箇所については、堤防化を行う。

○海岸保全施設の概要

海岸保全区域延長: 13,515m

建設年度: 昭和36～41年度

防潮扉等の設置箇所: 48箇所

改良対象箇所: 39箇所

改良済: 27箇所済

(R3年3月現在)

港湾における、災害対応力向上に向けた取組

○災害に備えた訓練及び感染症対策について

(1) 首都直下地震防災訓練(実働訓練)

東扇島東公園は、首都直下地震等が発生した場合、基幹的広域防災拠点として陸路・海路・空路を活用した緊急物資の輸送拠点となるとともに、緊急消防援助隊等の広域支援部隊の活動拠点となります。そこで、港湾局は例年、**関東地方整備局や周辺企業等と合同**で「**緊急物資輸送**」や「**緊急確保航路啓開**」等の実働訓練を実施し、防災対応能力の向上とさらなる連携強化を図っております。



緊急支援物資海上輸送訓練の様子



緊急確保航路啓開訓練の様子



人命救助訓練の様子



ヘリコプター
夜間離着陸訓練
の様子



帰宅困難者輸送訓練の様子



液化化応急復旧訓練
の様子

(2) 防災用浮棧橋を活用した訓練の実施

地震等により臨海部の各島と内陸を結ぶ連絡橋が落橋するなどして各島が孤立化した際に備え、**本市所有の防災用浮棧橋及び船舶を活用した緊急物資や帰宅困難者の輸送体制**を確保するため、令和2年度は、千鳥町設置の防災用浮棧橋を小島新田物場場に移設、及び帰宅困難者移送訓練を実施しました。

令和3年度においては、令和元年度・2年度と2カ年にわたり訓練を実施した調査結果を踏まえ、災害時に備えるとともに、乗降に必要な備品等の確保に向けた調整を図ってまいります。



浮棧橋曳航訓練
の様子



帰宅困難者移送訓練
の様子

(3) 川崎港における新型コロナウイルス感染症対策

- ◇マスクの着用・手洗い・消毒及び3密の回避など基本的な対策の周知徹底
- ◇外国船舶が出入りする公共国際ふ頭内のゲートやコンテナミル内の消毒液の設置
- ◇コンテナミル作業員詰め所入への増設
- ◇窓口における飛沫感染防止用アクリル板の設置
- ◇国や港湾関係事業者との連携による、感染症関連情報の収集及び速やかな情報共有



ソーシャルディスタンス
の確保



飛沫感染防止用
アクリル板設置

新造船「かもめ」の運用開始(令和3年3月竣工)



総トン数	19トン	船体材質	アルミ合金
※長さ／幅	17.5m／4.0m	船型	単胴船
速 力	24.5ノット	港内案内定員	20名

※登録上の船舶の長さ・幅

1 港湾局の役割(巡視船関係)

- (1) 港湾管理者
港湾法により、港湾区域及び管理下の港湾施設を良好な状態に維持
●港湾法 第12条第2号
- (2) 水域保安管理者
国際船舶・港湾保安法により、海域の制限区域の保安の確保
●国際船舶・港湾保安法 第36条

2 巡視船を用いた業務

- (1) 港湾区域の巡視
- (2) 港湾施設の破損の点検
- (3) 港内案内の運航
- (4) 災害発生時における人・物資の輸送
- (5) 油流出時の対応(航走・放水銃による攪拌処理等)
- (6) 海難事故対応
- (7) その他港湾管理上必要な業務

3 港湾局の他の巡視船

あ お ぞ ら		
	総トン数	126.77トン
	※長さ／幅	25.0m／6.2m
	速 力	22.9ノット
	船体材質	軽合金
	船型	単胴船
	建 造 年	1982年(38年)
	港内案内定員	50名
ひ ば り		
	総トン数	20.90トン
	※長さ／幅	10.2m／5.98m
	速 力	11ノット
	船体材質	軽合金
	船型	双胴船
	建 造 年	1973年(47年)
	港内案内定員	—

市民に親しまれる港づくり



川崎港の魅力向上に向けた取組

川崎マリエンの利用促進の取組

○ 市民と港を結ぶ拠点として～

テニスコートの改修、ニュースポーツスクール、市民・近隣企業向けバトミントン・テニス・工作・茶道教室、クラシックカーの展示

○ 川崎港の観光拠点として～

日本夜景遺産登録を活かした取り組みの実施、ライトアップの実施、ドラマ・CM撮影のさらなる誘致

○ ビーチスポーツの拠点として～

東京オリンピックを契機とした競技別NTCの支援、各種ビーチバレーボール大会の開催、川崎ビーチスポーツクラブの支援、ビーチテニス等マリンスポーツの実施

今後のイベント等の予定(川崎マリエン)

夏休み工作教室(8月)、クリスマスイルミネーション・ライトアップ(12月) 川崎マリエン写真・児童絵画コンクール(11月～1月)等

東公園等の緑地活用の取組

市民や港湾労働者の憩いのため、そして川崎港の持続的な発展のため、川崎港の魅力をこれからもどんどん磨き上げていきます!

新型コロナ対策を施したイベントの開催

- 川崎港開港70周年記念事業
- 川崎みなと祭り
- 川崎マリンエンデューロ
- 川崎港トライアスロン大会 in 東扇島など

川崎みなと祭り



トライアスロン

東扇島防災浮桟橋の活用

- 平常時の財産の有効活用
- 川崎港の魅力の発見、浮桟橋の役割の発信
- 大人の社会科見学
- 工場夜景クルーズ 魅力体験ツアー、など



東扇島防災浮桟橋

東扇島西公園にて民間活力を導入したモデル事業の実施

民間活力を導入したモデル事業で、海と緑地の融合をコンセプトとして、釣りとバーベキューを楽しめる新たな西公園の魅力創造し、発信します!

- ・事業概要:釣り体験つき手ぶらバーベキューなど
- ・実施期間:令和3年4月24日(土)～令和3年11月28日(日)
- ・営業時間:9時～12時、13時～16時(2部制)

【釣りとバーベキュー】



令和3年度の主な事業及び予算

【令和3年度港湾局予算額及び財源内訳】

一般会計 12,344,261千円(特定財源12,343,509千円、一般財源752千円)

港湾整備事業特別会計 3,839,628千円(特定財源 3,839,628千円)

1 コンテナターミナルの利用促進・活性化

(1) 予算額 1,951,305千円

(2) 概要 コンテナ関連施設(バンプール・シャーシプール)の整備

川崎港利用促進コンテナ貨物補助制度の実施

横浜川崎国際港湾・川崎臨港倉庫埠頭
共同事業体によるコンテナターミナルの
維持管理等

2 港湾施設の整備・維持管理

(1) 予算額 1,543,051千円

(2) 概要 施設の改良及び補修工事の実施
東扇島小型船溜まり防波堤の整備等

3 川崎港海底トンネルの改修・維持管理

(1) 予算額 357,084千円

(2) 概要 トンネル本体の改良及び付帯設備の改
修工事の実施等

4 臨港道路東扇島水江町線整備の推進

(1) 予算額 7,291,966千円

(2) 概要 国の直轄事業による臨港道路東扇島
水江町線の整備、及び関係道路の改良
工事の実施等

5 東扇島堀込部土地造成事業の推進

(1) 予算額 695,066千円

(2) 概要 海面埋立に必要な護岸整備等

6 ポートセールス事業等の推進

(1) 予算額 20,184千円

(2) 概要 新規航路開設や既存航路の安定化に向け
たポートセールスの推進等

7 港湾・海岸の防災・減災対策の推進

(1) 予算額 227,631千円

(2) 概要 海岸保全施設の改良、浮島2期地区廃
棄物埋立護岸の復旧工事等

8 魅力ある緑地・親水空間の形成

(1) 予算額 513,948千円

(2) 概要 東扇島の環境美化及び交通環境の改善に
向けた取組の推進
東扇島東公園、川崎マリエン及びビーチ
バレーコート等の維持管理
港湾緑地等の施設を活用したイベント開催
などの新たな賑わい創出に向けた取組等

9 浮島2期地区埋立事業の推進

(1) 予算額 1,197,024千円

(2) 概要 浮島2期廃棄物処分場の埋立護岸の維持
管理及び埋立作業等